

2000人の上映会を成功させよう!

『いのちの山河』荒川上映実行委員会ニュース

2011年1月20日 第10号 (最終号) 発行 事務局 上田 TEL3802-3524

1月11日最終実行委で上映運動を振り返る

11日に行われた最終の実行委員会で以下の通り振り返りを行いました。

- 当日来場者数 1660人 (要員含む)
- 清算数2067枚 (製作協力券含む) 人口比で1.01%の到達を築いた。
- 賛同人193人、共同代表7人、合計200人の名前入りチラシを配布。
- チラシ配布数 10万枚 世帯比で100%を突破
- ポスター掲示約400枚 自転車ポスター約50枚
- 区、教育委員会、社会福祉協議会、地域振興公社が後援。
- 荒川ケーブルテレビと東京新聞下町支局が協力
- 約25団体が何らかの形で関わった。

- 老人会、町会への働きかけは区内の運動の歴史上初めて?の大きな取り組みになった。
- 荒川区議会の全会派へ訪問、区役所内の各部署訪問も行った。
 - ・ベタ (無差別・個別) での訪問行動も行った。
- 試写会を2か所、3回の上映で175人を組織。
- プレ企画で学習と運動の交流。心ひとつにその後の運動の励みとなった。参加約60人。
- 実行委員会へゲストを招いての学習の継続。
- 区のOBの奮闘で区役所内へ大きく広がった。
などなど…

他区と比べると・・・

- 清算数 (売り上げ枚数+協力券) で人口比1%越えは23区では荒川のみ快挙。特に守る会が3ヶタ売ったところはないのに500枚を突破。日暮里9条の会は1つの地域での300枚越え。民商、年金者組合の100枚越えも他にない。
- チラシを10万枚、世帯比100%越えは異例。
- 取り組み団体も大きく広がった。

決算討議 (黒字の使い道)

収入から経費を引くと24万円の黒字になりました。討議の結果、「区内での社会保障運動の前進のために使ってほしい」ということで一致しました。今後、参加団体を中心に社会保障をテーマにした新たな会を立ち上げてそこで使ってもらう事になりました (21万円)。レセプション的のいのちの山河実行委員会の解散式と新たな会の結成式をという提案も出されました。また、24万円のうちの3万円を荒川区社会福祉協議会へ寄付することが確認されました。

最後に・・・

約半年間、「あきらめない」精神で様々な運動を展開し、多くの事を学ぶことができました。それを力に「これで終わり」ではなく、新たな出発に向け、またご一緒に頑張りましょう。ひとまず、本当にお疲れ様でした。

1月11日 最終到達

団体名	目標	売上
生活と健康を守る会	500	512
東京ほくと	500	435
日暮里9条の会	300	307
年金者組合	65	125
荒川民商	100	108
東京ふれあい	100	87
東京土建	50	50
新婦人	100	47
平和憲法を守る 荒川の会	30	37
借地借家人	20	25
下町人間の会	20	20
生協連絡会		12
区職労		10
東京ダルク		8
区労評		6
西尾久9条の会		5
個人	180	73
その他	10	10
当日販売		126
製作協力券		64
合計	2000	2067